

2019年度（平成31年／令和元年度）事業計画

「香川から子育てをもっと楽しく！」

～すべての人が子育てを前向きにとらえられる社会に～

わははネット 2030

わははネットは 2030 年までに 100 万人のひとびととの関わりを持つことを通して、わははネットのクレドの実現を目指します。

部門	チーム		目標人数	事業費	ページ
総務部		寄付 他	1,790	860,000	40
		木育キャラバン	1,700	0	
子育て環境改善部	企画制作チーム	ママ∞フェスタ	8,200	3,794,256	41～42
		情報誌	25,000	15,000,000	
		LINE@、WEB 閲覧	7,000	100,000	
		防災フェスティバル	1,000	850,000	
		美容-eki	330	4,909,091	
	事業推進チーム	支援員研修	700	8,579,000	43～44
		ふれあい事業	530	330,000	
		たまご育て事業	800	3,399,055	
		らっこ	8,000	4,029,380	
		丸亀 WLB	50	1,700,000	
	育休プログラム	50	388,000		
子育て支援部	坂出ひろば		5,800	7,951,000	45
	高松ひろば	地域子育て支援拠点	7,600	7,951,000	46
		利用者支援事業	4,900	7,200,000	47
	香西ひろば		6,800	7,951,000	48
子育て支援部	まろっ子ひろば	地域子育て支援拠点	10,000	7,453,000	49～54
		利用者支援事業	1,200	6,732,000	
		一時預かり事業	450	1,870,000	
		館運営	14,000	6,384,892	
合計			105,900	97,431,674	

➤ 総務部（小出・成合）

- ・認定NPO 取得に向けて、寄付システムの構築・運用
- ・組織体制整備、強化
- ・サロン de わはは
- ・KIDS Friendly Club

➤ 企画制作チーム（浪越・森田・吉岡）

1. 子育て情報誌「おやこ DE わはは」
2. ママ∞フェスタ 2019
3. ファミリー防災フェスティバル
4. LINE@
5. 広報（WEB・ラジオ・SNS 等）

➤ 事業推進チーム（小出・藤間・脇屋・角野）

1. 高松市 子育て支援総合情報発信事業（継続）
「子育てハンドブックたかまつらっこ」「らっこネット」
「ひとり親ハンドブック」「ひとり親ネット」
2. 高松市 中学生と乳幼児のふれあい事業
3. 香川県 「イクケン香川」たまご育て事業
4. 香川県 縁結びから子育てまで美容-eki 業務
5. 丸亀市ワーク・ライフ・バランス推進のための企業コンサルティング業務
6. 香川県 子育て支援人材養成事業
7. 育休プログラム

➤ おもちゃ美術館準備室

- ・木育キャラバン 2019in 丸亀町

➤ 地域子育て支援拠点事業

- ・わはは・ひろば坂出（三野）
- ・わはは・ひろば高松（鏡原）
- ・わはは・ひろば香西（清原）
- ・地域子育て支援拠点コーディネーター事業（前田）
- ・指定管理事業「まるっ子ひろば」（さかいで子育て支援センター）
 - ・自主事業（辻野）
 - ・「まるっ子ひろば」子育てひろば（太田）
 - ・「まるっ子ひろば」子育て相談（太田）
 - ・「まるっ子ひろば」一時預かり事業（太田）
- ・平成 31 年度 「地域は共育」

総務部 2019年度 事業計画

	全体	総務・労務	認定NPO準備	福利厚生/社内行事
4月	チームリーダー会議 メールニュース	・新年度体制(労務・賃金) ・労働者名簿の作成・更新	・2018年度 寄付状況整理 ・認定の流れ、スケジュール 作成	健康診断手配
5月	理事会(総会準備) メールニュース・ニュースレター	・法人税・法人住民税・法人 事業税・消費税の申告・納付	・寄付金 ネット決済の仕組 み構築	キャリアコンサルティング (まろっ子)
6月	通常総会 目標管理制度スタート メールニュース	・事業報告書提出 ・特別徴収住民税額の更新	・振込口座開設 ・リーフレット作成	キャリアコンサルティング (高松)(子育て環境改善部)
7月	チームリーダー会議 メールニュース・ニュースレター		・HP 寄付の呼びかけページ	キャリアコンサルティング (坂出)
8月	メールニュース	・消費税率変更に伴う作業の 洗い出し	損保ジャパン 助成金チェック (秋予定 昨年度9月～)	キャリアコンサルティング (香西) わははネットお楽しみ企画
9月	上半期事業計画・実績集計 理事会 メールニュース・ニュースレター	・有休休暇取得率確認		キャリアコンサルティング
10月	チームリーダー会議 上半期事業計画の修正・推進 メールニュース	・年末調整準備		キャリアコンサルティング
11月	メールニュース・ニュースレター		研修会(予定)	キャリアコンサルティング
12月	メールニュース	・年賀状の準備・発送		キャリアコンサルティング わははネット忘年会
1月	チームリーダー会議 理事会(次年度計画、予算編成) メールニュース・ニュースレター	・年賀状返礼、住所録整理		キャリアコンサルティング
2月	わははネット全大会 メールニュース			キャリアコンサルティング
3月	人事考課(通年) 決算 メールニュース・ニュースレター	・退職金対象者確認 ・決算事務 ・年度書類整理、廃棄		キャリアコンサルティング
<p>◆サロンdeわはは(異業種勉強会) ◆KIDS Friendly Club ◆3S活動 ◆zoom会議 年間を通じて、チームごとに企画推進 わははネットを応援して下さる専門家・・・ キャリアコンサルタント 田中道博先生 / 目標管理・組織づくり 本山雅英先生 ◆わははネットメールニュース ◆わははネットニュースレター の発行を通して、わははネットの活動を広く周知</p>				

【目標】

- 認定NPO 取得を目指して、寄付の仕組みの確立
- 目的別に会議を設け、計画的な事業推進を目指す
- 年度後半に向けて、目標管理制度の運用が可能になるよう体制を整える
- 研修計画をたて、内部・外部通して、求める姿、ありたい姿に近づけるための学びの機会を確保する

【達成すべき数値目標】

- 寄付の呼びかけ 30人/月×12か月・メールニュース 300人(現275人)・ニュースレター 900人
- わははネットの家族参加企画(お楽しみ企画 夏・忘年会 冬)を通して 参加者 延べ 100人
- 寄付獲得数 130人

1. 子育て情報誌おやこ DE わはは（vol.84～vol.89） ¥15,000,000 目標（1号当たり¥2,500,000）

発行年 6回 隔月（奇数月）20日

発行部数 25,000部

配布箇所 香川県全域 約1,200箇所

特集テーマ

84号（5月号・チャイルド） お金の貯まる魔法学校

85号（7月号・キッズ） スマホと上手に付き合う方法

86号（9月号・ベビー） 防災

87号（11月号・祖父母） 祖父母世代に話を聞く

88号（1月号・マタニティ） マタニティから始めたい大人の習い事

89号（3月号・パパ） さぬき女のトリセツ

【重点実行項目】

■ターゲット層、年間テーマを提示して、取材先や協賛企業への働きかけ、新規協賛企業の開拓

新規 ■新コーナーを設定

わははネットの目線から子育て家庭に訴求したい内容を伝える

- ・ おやこ DE 健康 ・おやこ DE 防災

香川大学の先生への執筆依頼や監修依頼など専門家への協力を得る。

■ホームページ・SNSとの連動による積極的情報発信

■わははネットニュースレターの作成

情報誌広告主、設置店舗、わははネットを応援してくださっている企業、団体、個人に対して情報誌の発行タイミングに合わせて発行・配布。

2. ママ∞フェスタ 2019（8回目）【報告】 ¥3,794,256（実績）

日時：令和元年5月12日（日）「母の日」10:00～15:00

場所：サンメッセ香川 大展示場全面、第一屋外展示場

出展団体*（ ）内は昨年度

- ・企業ブース 42社 50ブース（44社 53ブース） ・ハンドメイドブース 28団体 30ブース（24団体 26ブース）
- ・ステージ 4ステージ（5ステージ） ・同梱サービス 7社（6社）

新規出展：企業 7社、ステージ 2ステージ

【重点実行項目】

① 企業とのコラボにより体感コーナー設置

- ・起震車による地震体験 ・シミュレーターでの自動運転体験

② 事前説明会の実施

- ・出展企業の交流の時間を設ける。イベントをきっかけに企業間コラボなど提案。

▶ 2020年5月24日（日）開催予定 目標人数 延べ8,000人 目標収入 ¥4,500,000

新規 3. ファミリー防災フェスティバル ¥850,000

イベント大募集！2019 採択事業 シンボルトワー開発㈱、(公財)高松観光、コンベンション・ビューロー 共催

「防災」を広く子育て家庭に啓発していくためのイベントを開催

日 時:令和元年9月21日(土) 10:00~15:00

場 所:サンポート高松 デックスガレリア・多目的広場

内 容:企業ブース出展、ステージ、防災ピクニック開催、車両展示など

【重点実行項目】

- ① 防災に関する情報を提供できる企業の新規獲得。
ブース出展 10社、広告協賛 6社
- ② 有識者や学生、婦人会の協力を得ることで子育て家庭だけでなく多世代に向けての啓発を行う。
イベント来場者目標 500組 1000名
- ③ イベントを定着化させるためのネットワーク作り

4. LINE@の有効的活用

【重点実行項目】

- ① 友達登録目標 1,000 (2019年5月末現在 858)
イベントやSNS等で積極的リリースを行う
5/12 ママ∞フェスタ 登録促進では+309
- ② 企業からの広告収入につなげる

5. ホームページ・SNS等の有効的活用

【重点実行項目】

- ① アクセス数を増やす！(月間平均セッション数 約6,300)
3か月ごとにHP制作会社㈱ゴーフィールドとの定例会を実施。
訪問者が必要とする情報を掲載、目的ページにストレスなく移動できるようなサイト作り
定期的な情報更新
サイト構成の見直し(わははネットイベントカレンダー新設)など
情報誌とも連動させながら情報発信を積極的に行う
- ② 情報内容によって使用ツールを使い分け、確実に必要な層に情報を届ける

6. メディア

レギュラー番組以外でもメディアに取り上げられるよう積極的にリリースし、多くの人の目に触れる機会を作り わははネットの認知を広げる

- FM香川「ラジオ DE わはは」 毎週金曜 14:30~FM香川「ウィークエンドシャトル」の1コーナー。
- ケーブルメディア四国(高松ケーブル) イクコミ！知って得する子育て情報コーナー(毎日オンエア)
- RNCラジオ「さわやかラジオ ハイタッチ」月1回「子育てことはじめ」

子育て環境改善部（事業推進チーム） 2019年度 事業計画

継続事業	1【高松市委託事業】高松子育て支援総合情報発信事業
事業内容	子育て支援総合情報サイトの管理・「らっこ」改訂増刷作業 4,700部増刷 ひとり親サイトの構築、冊子改訂増刷作業 2,000部増刷
実施予定日時	平成31年4月1日～平成32年3月31日
実施場所	わははネット事務局
従事者の人数	5人
受益対象者の範囲及び人数	高松市内の子育て家庭に向けて
予算額	¥4,029,380

継続事業	2【高松市委託事業】中学生と乳幼児のふれあい事業
事業内容	中学生と乳幼児の親子がふれあう中で、中学生がこれからの将来の像を描いたり、自分が生まれてからこれまでを振り返ったりすることができる経験をする。乳幼児の親子は、自分の育児経験を中学生に話すことで役立ち感を感じたり、自分の子育てを客観的にみつめる機会を持つ。
実施予定日時	平成31年5月中旬～平成32年3月31日
実施場所	紫雲中学校、勝賀中学校
従事者の人数	5人
受益対象者の範囲及び人数	上記2か所の中学生及び参加親子
予算額	¥330,000

新規事業	3【香川县委託業務】「イクケン香川」たまご育て事業
事業内容	子育て家庭の孤立化が進んでいる中、子どもや子育て家庭が地域でさまざまな世代と関わる機会を持ち、顔が見える関係を構築することで地域のつながりが形成され、地域にも子どもと触れ合うことで活力が生まれるほか、防犯や防災などでお互いに支え合う関係づくりを図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・次代を担うたまご応援講座（高校生ライフデザイン授業） ・地域でたまご応援講座（セミナー、バスツアー） ・他孫（たまご）育て応援講座（子育て支援団体ニーズ調査、シニア人材の掘り起こし）
実施予定日時	平成31年4月25日～平成32年3月16日
実施場所	わははネット事務局
従事者の人数	5人
受益対象者の範囲及び人数	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の高校1～2年生 のべ400人目標 ・子育て家庭含む、地域の方々全般 ・県内の子育て支援に取り組んでいる団体やファミリー・サポート・センター等 ・県内老人クラブ連合会、シルバー人材センター及び社会福祉協議会のシニア層の集う場所等 ・シニア層全般
予算額	¥3,399,055

継続事業 (拡充)	4【香川県委託事業】縁結び・子育て美容-eki 拡大業務
事業内容	香川県の子育て家庭や子育て支援の現状、結婚支援について学んでいただき、子育て家庭を温かく見守り応援し、結婚について考えるきっかけや結婚を希望する方の結婚支援の窓口になり得る美容院、理容室、ネイルサロン、鍼灸院、整体院等の認定店舗数を拡大する
実施予定日時	契約締結日～平成32年3月16日
実施場所	わははネット事務局
従事者の人数	5人
受益対象者の範囲及び人数	美容院、理容室、ネイルサロン、鍼灸院、整体院等に加え、結婚や出産等ライフイベントごとに家庭とのやり取りが多い生命保険等を取り扱う者
予算額	¥4,909,091

継続事業	5【丸亀市委託事業】丸亀市ワーク・ライフ・バランス推進のための企業コンサルティング業務
事業内容	職場のワーク・ライフ・バランスを推進するために取組を開始したい企業や、現在の取組を見直したい企業において、経営者と従業員が一体となってワーク・ライフ・バランスの推進に取り組める仕組みづくりの支援を行うことを目的とする。
実施予定日時	契約締結日～令和2年3月16日
実施場所	わははネット事務局
従事者の人数	5人
受益対象者の範囲及び人数	市内に主たる事務所があるもののうち、常時雇用労働者数が300人以下である企業、法人2社以上。
予算額	¥1,700,000

継続事業	6【香川県委託事業】子育て支援人材養成事業
事業内容	地域の子育て支援に取り組む人材を養成する研修を実施し、研修を修了した者を「子育て支援員」及び「放課後児童支援員」として認定する。
実施日時	平成31年4月3日～平成32年3月31日
実施場所	わははネット事務局
従事者の人数	5人
受益対象者の範囲及び人数	県内の子育て支援の仕事に関心を持ち、子育て支援分野の各事業等に従事することを希望するもので受講申し込みをする者。
予算額	¥8,579,000

2019年度6月現在確定分

子育て支援部（わはは・ひろば坂出） 2019年度 事業計画

年度目標	子どもも楽しめるひろばへ (様々な人と関わる・経験ができる・子ども同士遊べる・自分が尊重される・大人も楽しい)
事業費	¥7,951,000
目標利用者数	5,900人

◎事業計画

◆情報提供…利用者のニーズに沿った情報を提供。

【目標：年2回のアンケートで[地域の情報が手に入る][子育てに関する知識が身につく]を30年度10%→15%】

〈掲示板〉・地域のイベント情報や、季節ごとにテーマを設け口コミ情報収集、月1回更新する。

・利用者へニーズ調査を実施し(随時)、それに元づき情報提供する。

〈講座の実施〉・毎日の相談内容を集計。相談内容に応じた講座の実施(3か月に1回)

◆イベント…0,1歳の子どもが楽しめるイベント、大人も子どもも楽しいイベントを実施。

【目標：[子どもが楽しい][子どもに友達ができる]を30年度48%→50%、

[自分自身に友達ができる・楽しめる]を30年度10%→15%】

・土曜ひろばにテーマを設け、様々な大人や異年齢の子どもと関わる機会を設ける(月1回)

・赤ちゃんひろばにふれあいあそび、ベビーマッサージを取り入れ、親子で楽しむ時間を作る。(月2回)

・利用者の意見を取り入れ、フリマやお茶会、講座など利用者が主体的に楽しみながら参加できるイベントづくり(年4回)

◆スタッフのかかわり…スタッフのチームワークづくりを進める。

・ひろばの様子や日々の気づきをスタッフ間で共有する。

・ミーティング、振り返りを通してそれぞれの業務進捗状況を伝え合い、コミュニケーションを図る。

◆地域連携…地域資源を活用し、地域と子どもとのつながりを作る。

・子育て家庭と地域とのパイプ役となり、保健師・栄養士を招いた座談会の開催、またクリスマス会などの商店街を活用したイベントの実施。

①子育て親子の交流の場の提供と交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・お誕生日会 月1回 / 計12回 ・赤ちゃんひろば 月2回 / 計24回 ・ツイズデー 隔月1回 / 計6回 ・わんぱくひろば 年4回 <p>開館中は、親子が孤立しないようスタッフが十分配慮し、自由に交流ができるようにする。同じ月齢の子どもを持つ親同士や多胎児の親同士が出会える場を作り、より交流が進むきっかけづくりを促進。異年齢交流や父親の交流ができるよう、土曜日(月1回程度)開館する。</p>
②子育て等に関する相談・援助の実施	<p>スタッフは一緒に子育てを考え、見守る姿勢を前提に、情報提供や必要であれば専門機関を紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助産師相談 ・子どもの不思議?!Q&A (臨床発達心理士) ・保健師さんと座談会 ・栄養士さんと座談会 ・地域子育て支援コーディネーターによる情報提供と個別相談を実施
③地域の子育て関連情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ひろばに情報コーナーを設置し、市役所・図書館など地域から得た子育て情報をいつでも見られるように整理・配置しておく。 ・子育てに関する新聞記事や講座などの資料を掲示している。 ・口コミ掲示板を設置し、利用者相互の情報交換が図れるように管理。 ・サークル、子育て支援拠点などの情報をわかりやすく整理する。 ・わははひろば専用ホームページの運営。その他、本体 NPO で収集した情報を携帯メール、インターネット、Facebook、情報誌等で提供。
④子育ておよび子育て支援に関する講習等の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・救命救急講座、子どもの不思議?!Q&A、わらべうたあそびの講座、防災講座、おやつについての講座、工作あそび、ふれあい遊び・絵本読み聞かせ(毎日)他 ・ツイズデーや赤ちゃんひろば、同級生の会など、同じ立場や同年代の人が集まれる機会を設け子育ての悩み軽減や同じ立場同世代の子どもを持つ人と交流できるようにする。

子育て支援部（わはは・ひろば高松） 2019年度 事業計画

年度目標	妊娠期から利用してもらえひろばづくり 妊娠期からの利用にて早期に拠点につながることで産後うつなどの軽減につなげる
事業費	¥ 7, 9 5 1, 0 0 0
目標利用者数	延べ7,600人（新規登録組数 230組 うちプレママ 10組）

- ◆情報提供…赤ちゃんのいる生活がイメージできる。
 - ・プレママの日に1歳児未満の子どもをもつ利用者に体験談を話してもらう。
- ◆スタッフの関わり…妊婦など、多様な人が過ごしやすい環境設定を行う。
 - ・3Sを活用し、具体的にリストアップし全員で確認し業務の漏れがないようにする。
- ◆イベント… 妊娠中から産後の生活に向けての準備や、子育ての仲間づくりが出来る会の開催
 - ・プレママ向けのイベントを毎月開催。テーマ設定し、土曜日に夫も参加できる内容、育休復帰向けの内容をコーディネーターと共同開催。
 - ・アラフォー世代の方が妊娠期や子育て中に同世代でつながり、情報交換ができる場を設ける。
- ◆広報活動…妊娠期から利用できる場所という地域での認知度を上げる。
 - ・新規のプレママに利用についてのアンケート「を実施。結果をSNSに掲載。新規獲得に努める。
 - ・インターネットを見て来所した新規のプレママに、出産後に利用できる足型カードをプレゼントし、出産後もひろばを利用するきっかけづくりをする。
 - ・ひろば前に出すブラックボードを、妊娠中の方に特化した内容にする。
- ◆地域とのつながり…通信配布箇所の見直し、まだ情報が届いていない場所への新規開拓
 - ・産婦人科・地域の企業など、拠点を知らない人へSNSや通信でひろばを周知する。

① 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生日会：月1回/12回 ・プレママ&赤ちゃんひろば：月1回/12回 ・ツインズデー：月1回/12回 ・年度生まれの会/月2回 ・転勤族の会：4回/年 ・プレママの会 4回/年 ・アラフォーカフェ 月1回/12回 ・ボランティアスタッフ主催のイベント4回/年 ・土曜ひろば 月1回/計12回 <p>ひろば開館中は、親子が孤立しないようにスタッフが十分配慮し、自由に交流ができるようにしている。同じ月齢の子どもを持つ親同士や多胎児の親同士が出会える場を作り、より交流が進むきっかけづくりを行っている。安心して出産、育児ができるようプレママと先輩ママの交流の定期開催。</p> <p>休日に開館日を設け、父親も参加しやすいイベントを休日に開催予定。</p> <p>・地域の多様な人との出会いの促進の為、ボランティアの受け入れ、お助けスタッフの活動を支援</p>
② 子育て等に関する相談・援助の実施	<p>ひろば内で相談、またはスタッフと個人で相談ができるように個別の部屋・時間の選択ができるよう配慮。またスタッフは一緒に子育てを考え、見守る姿勢を前提に、情報提供や必要であれば専門機関を紹介。</p> <p>・子育て座談会（臨床発達心理士参加）・コーディネーターによる幼稚園・保育所情報会（1回/月程度）</p> <p>【連携機関】こだま学園・保健センター 臨床発達心理士</p>
③ 地域の子育て関連情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・情報コーナーを設置し、行政からの情報のチラシ、コミュニティセンター等で集めた子育て情報を提供。 ・最新の幼稚園、保育所、遊び場などを分かりやすくファイルに整理。 ・子育てに関する新聞記事や講座などの資料を掲示している。 ・クチコミ掲示板を作り、自由に子育て情報を交換できるように管理。 ・わはは・ひろば専用サイトの運営。その他、本体NPOで収集した情報を、インターネット、情報誌等で提供。 ・最新の情報を収集できるように、ひろばにiPadを設置。 ・利用者からの情報提供を募る。
④ 子育ておよび子育て支援に関する講習等の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児のための救命講習（2回/年）・わらべうたあそびの講座（3回/年）・防災講座（2回/年）・ファミサポ登録会（1回/年）・おもちゃの話（1回/年）・子育て座談会（5回/年）助産師相談（2回/年） ・工作あそび、手あそび、絵本の読み聞かせ（随時）ツインズデーやプレママ&赤ちゃんひろばなど、同じ立場や同年代の人が集まれる機会を設けている。

子育て支援部（高松市地域子育て支援コーディネーター事業）2019年度 事業計画

年度目標	子どもの育ちを見据えた支援 ～予防～
事業費	¥7,200,000
関わる人（目標）	4,900人

【取組方法】

①情報提供

- ・SNSで時期に合わせた市内の子育て支援内容を配信。(1回/月)
- ・ひとり親メールシステムの定期配信。(2回/月)
- ・拠点と共同でプレママの会を開催し、育休・産休プログラムを行う。(1回/年)

②個別支援・家族支援

- ・定期的なケースプランの見直し(1回/月)
- ・継続ケースに関しては、ケースプランを作成し、今後の支援内容を拠点と共有・確認する。
- ・子どもの発達に関してのケースは拠点の子育て座談会で常田先生との個別相談枠を設け、コーディネーターも同席し保護者と支援内容を共有することで継続した支援となるように関わる。

③保護者が子どもの発達、関わりを知る。

- ・臨床発達心理士による子育て座談会を実施。子どもの成長の見通しを知り、子どもに応じた関わり方を考える機会とする。また、講座内容をSNSにアップし参加していない人にも情報提供する。

④周囲の理解を得る

- ・まると福祉の会議等、多様な機関にパンフレットを配布し周知する。

必須事業	① 利用者の個別ニーズを把握し、それに基づいて情報の集約・提供、相談、利用支援等を行うことにより、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるよう実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・電話相談、予約による来所相談を受け付ける。 ・担当エリアの地域子育て全支援拠点に出向き利用者からの相談を受け付ける。 ・担当地域のコミュニティセンターで開催されている育児サークルに出向き、参加者からの相談を受ける。(栗林・二番丁・松島) ・幼稚園12か所、保育所(園)21か所、こども園5か所、地域子育て支援拠点7か所、企業主導型保育施設10か所、認可外保育施設7か所、子育て支援に関する施設・事業や、医療・保健など、隣接する他領域の事業、地域のインフォーマルな取り組みも含め、地域で子育て支援に関わる関係機関に訪問し、訪問シートに情報を記載。市内全域の情報については利用者支援を担当する他3拠点とそれぞれの情報を共有して把握。 ・必要に応じ同行相談、訪問を行う。
	② 教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を提供している関係機関との連絡・調整、連携、協働の体制づくりを行うとともに、地域の子育て資源の育成、地域課題の発見・共有、地域で必要な社会資源の開発等。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用相談や幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点等の訪問で出た課題について、高松市地域子育て支援コーディネーター事業を担当する4拠点と高松市との連絡会で共有する。 ・担当地域の保健センターの乳児健診に出向き、関係の構築に努める。 ・定期訪問先の地域子育て支援拠点にて個別支援についてのミーティングを行い、連携し継続支援を行う。 ・定期的に担当エリアを中心に訪問し日常的に関係を構築するように努める。 ・シングル・離婚を考えている方のための座談会にてひとり親支援実施(1回/月) ・相談ニーズに伴う内容により講師を招いての子育て講習を実施。 ・エリア内の高齢者施設と地域子育て支援拠点との交流を実施。 ・必要に応じてケース会を実施。
	③ 本事業の実施に当たり、リーフレットその他の広告媒体を活用し、積極的な広報・啓発活動を実施し、広くサービス利用者に周知に関すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・4拠点合同のリーフレットを作成、市内で配布。 ・香川県内に無料配布されている子育て情報誌「おやこ DE わはは」、わははLINE@、わははひろば高松通信にて子育て支援コーディネーターについて掲載。 ・担当エリアの子育て支援拠点にて「コーディネーターの日」を開催し、コーディネーター事業や新制度について利用者へ情報提供を行う。 ・わははネットHPにてコーディネーター事業の周知を行う。 ・サークルの活動内容についての提案・相談・関係機関との調整を行う。 ・担当エリア内の、パパママ教室・4か月児相談・1歳6か月児健診に出向き事業説明を行う。 ・シングル・離婚を考えている方のための座談会のリーフレットを作成、市内で配布。
	④ その他事業を円滑にするための必要な諸業務に関すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・2か月に1回、4拠点が主催の連絡会を開催。 ・4拠点合同で研修会を行う。研修会の講師に地域の関係機関の実務者を迎え、顔の見える関係を構築する。 ・スーパーバイザーを迎え、事例検討会を行う。 ・必要に応じてケース記録作成、保管。

子育て支援部（わはは・ひろば香西）2019年度 事業計画

年度目標	ひろばが「私の居場所」となる ～利用者が主役になるひろばづくり～
事業費	¥7,951,000
目標利用者数	延べ6,800人

- ◆情報提供…利用者のニーズに合わせた地域情報の収集、様々な方法で情報提供をしていく。
 - ・掲示板・情報ファイル・iPadの担当を決め常に最新情報にするために月に一度見直し、整理を行う。
 - ・コーディネーターと連携して国や市の最新子育て支援情報を収集して利用者に提供する。
- ◆スタッフのかかわり…3S活動やミーティングを利用しスタッフのチームワークづくりに努める。
 - ・日常の利用者の話を丁寧に聞きながら、利用者の好きなことや得意なことを知る。
 - ・スタッフ間の業務や課題を共有し理解する為イベントMT、振り返りMTを分けて行う。
 - ・利用者の思いを活かしたひろばになるよう様々な方法で利用者の意見を集めていく。
- ◆イベント…利用者が主体的に楽しみながら交流できるイベントづくりをする。
 - ・母の工作や交流イベントを月1回程度企画し、母同士の交流や仲間作りにつなげていく。また、わんぱくあそびのイベントでも母も楽しめる工夫や交流できる内容へ変更。（アンケート母に関する利用目的25%→30%を目標とする。）
 - ・利用者と開催するイベントを継続して企画。（フリマ）
 - ・妊婦さんの日をつくり経産婦さんと初産婦さんの交流の場を提供する。
- ◆地域とのつながり…地域にひろばの認知を広げる。
 - ・シオンの丘訪問年6回程度 ふれあいお茶会年2回継続 保健師さんと座談会年1回 4ヶ月児相談訪問毎月
 - ・地域の乳幼児、妊婦の利用促進を目的に4ヶ月児相談時、母子手帳配布時に臨時通信、ドリンクチケットを配布。（4ヶ月児相談参加者30%の利用目標）
 - ・地域の施設や店舗に通信設置・ポスター掲示の協力を依頼。（5カ所増目標）
 - ・ボランティアさんのわらべうたあそび月2回

子育て支援部（さかいで子育て支援センター「まるっ子ひろば」）2019年度 事業計画

①子育て親子の交流の場の提供と交流の促進	<p>ひろばにきた親子が孤立せず心地よく過ごせるようにスタッフが配慮し、他の親子と十分交流できるようにする。同じ月齢の子どもをもつ親同士や多胎児の親同士が集まるイベントを企画し、ひろばを通して出会い、交流が深まるきっかけとなるようにする。土曜日に開館日を設け、父親が参加しやすい環境を作る。近隣の高齢者施設との交流・地域の方を招いてのイベントなどを通して、利用親子が地域を身近に感じながら温かい交流ができる機会を作る。</p>
②子育て等に関する相談・援助の実施	<p>ひろば内での相談、必要に応じて個別相談ができるように配慮する。</p> <p>スタッフは、当事者の目線で一緒に子育てを考え、寄り添う姿勢を大切にしながら、必要な情報を提供し、状況に応じて地域子育て支援コーディネーターと連携をとり専門機関を紹介する。</p> <p>・プレママ&赤ちゃんひろば・ツイズデー・保健師さんと座談会 ・子どもの育ち座談会（香川こだま学園）・臨床心理士さんと座談会</p> <p>【連携機関】香川こだま学園、勝賀保健ステーション、地域子育て支援コーディネーター</p>
③地域の子育て関連情報の提供	<p>・ひろばに情報コーナーを設置し、市役所、コミュニティセンターなどから得た子育て情報をいつでも見られるように整理・配置しておく。</p> <p>・最新の幼稚園・保育所・こども園・あそび場、サークル、子育て支援拠点の情報をわかりやすく整理する。</p> <p>・子育てに関する新聞記事、イベント・講座などの情報を掲示する。</p> <p>・クチコミ情報掲示板や地域情報マップで自由に情報交換ができるようにする。</p> <p>・わはは・ひろば専用サイトの運営。その他、本体NPOで収集した情報をインターネット、情報誌等で提供</p>
④子育ておよび子育て支援に関する講習等の実施	<p>・防災講座 ・乳幼児のための救急救命講習 ・子どもの育ち座談会 ・絵本の読み聞かせ・ふれあい遊び（毎日）・おもちゃの話 ・保健師さんと座談会 ・ツイズデー・プレママ&赤ちゃんの会 ・幼稚園選び座談会 ・わらべうたあそび ・臨床心理士さんと座談会</p> <p>親子または保護者が様々な講習や座談会に参加できる機会を設け、子育ての悩みの軽減につなげたり、同じ立場や同年代の子どもをもつ人と交流したりできるようにする。</p>

年度目標	①安心・安全の確保（安心して生み育て、健やかに守られて育つ環境づくり） ②利用者の視点（子ども・保護者・地域）にたった運営 ③連携機能の強化（妊娠期から切れ目ない支援実施のため各所と連携） ④民間ならではの柔軟で機動性のある運営
事業費	¥7,951,000
目標利用者数	延べ14,000人

1. 自主事業 <成果見込み> 利用者の視点にたった運営と地域連携の強化

①安心・安全の確保（安心して生み育て、健やかに守られて育つ環境づくり）

- ・地震や火災を想定した館全体での避難訓練や救急救命講座を実施して、不測の事態に備えた体制づくりを行う。
- ・スタッフのチームワークを構築し連携を図るため、月2回のスタッフミーティングを習慣化して互いの進捗状況や問題などを共有し、利用者が安心して利用できる運営に努める。

②利用者の視点（子ども・保護者・地域）にたった運営

- ・地域に根ざした支援センターとなるため、地域交流スペースを有効活用する。日・祝開館日にも地域交流スペースで休憩や食事をしてもらい世代、体調に合わせ利用できる環境設定を行う。
- ・彩葉作業所と連携を図り、毎週水曜日とリサイクルデー期間中に産直販売開催して、近隣にも広報し地域の方に利用につなげ顔の見える関係づくりを行う。
- ・地域の方やJAと協力してまるっ子菜園を充実させ、畑作業や交流会を通して親子ぬ豊かな体験をしてもらうと共に、地域の方と利用者の継続的な交流を図る。
- ・地元高齢者施設の夏祭りに地域の団体として参加し地域の方と一緒に楽しむ。

③連携機能の強化（妊娠期から切れ目ない支援実施のため各所と連携）

- ・さかいで子育てフェスティバル実行委員会を通して、地域団体との連携を深め立ちあげた「きんときネットワーク」を強化して、イベント以外でも地域での連携を図っていく。

④民間ならではの柔軟で機動性のある運営

- ・アンケート内容を見直し、利用者や子どもの館に対するニーズを把握し、その都度できることから改善する。土日も利用したいという声をもとに、年に3回日曜に2階ひろばもオープンして祖父母や地域の方みんなでも利用してもらえるようなイベントを企画する。

◎自主事業計画

① センターの管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心の確保：定期安全点検、火災・地震避難訓練の実施。不審者対策の実施。 ・利用規約の徹底：みんなが気持ちよく使えるよう互いに気遣える利用者同士の関係づくり。 ・掃除・整理・整頓の徹底：各担当場所を決めて各々責任を持って整備する。 ・利用者の声が聞ける対策：年2回のアンケート実施。 ・利用者の登録・管理：「子育て施設受付システムこころひろまるくん」によって利用者情報を管理する一方、緊急時の持ち出し名簿として手書きの利用者名簿も並行して作成・管理する。
② 子育てフェスティバル	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会を通して地域団体との交流を深める。 ・昨年度の反省を活かした昨年度よりもさらに地域の方が参加しやすいイベントにする。
③ ネットワーク・研修等事業	<ul style="list-style-type: none"> ・さかいで子育てネットワーク会議（さかいで子育てフェスティバル実行委員会）開催。 ・まるっ子リサイクルデー実施（6月、11月）。内、何日かは産直販売と同時開催。 ・毎日まるっ子ひろばHP、Facebookで情報発信する。
④ まろっ子菜園の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方・JAと協力し季節に応じた野菜を栽培・収穫する。 ・畑作業や交流会を通して、地域の方と利用者の継続的な交流を図る。 ・親子での畑作業の体験。 ・育てた野菜を地域の方と一緒に調理して、みんなで食すという体験をする。

2. 「まるっ子ひろば」子育てひろば

年度目標	3世代が楽しめるひろばづくり
事業費	¥7,453,000
利用者数	延べ利用人数10,000人、うち祖父母・地域の方の来館100人を目指す イベント参加などを通して祖父母世代、地域の方にひろばを知ってもらい、利用につなげていく

◎事業計画

- ◆情報提供…利用者のニーズに沿った情報を集め、提供する。
 - ・祖父母向けに子どもの発達や最近の育児情報について分かりやすくひろばに掲示する。
 - ・ポスターや通信などの発行物は、文字の読みやすさ、分かりやすい内容を工夫して配布する。
- ◆イベント…祖父母も一緒に楽しめるイベントを企画する。
 - ・3世代交流イベント「ファミリーデー」を新設(1回/月)。祖父母世代の参加20人/年を目標とする。
 - ・祖父母・地域の方も参加し、多世代でふれあうことの楽しさを味わえる内容としていく。
 - ・日曜開館(日曜ファミリーデー)を年3回企画。家族で来館しやすいイベントとしていく。
 - ・ひろばの棚や椅子の配置、イベント開催場所など様々な世代の方が過ごしやすい環境を見直す。
- ◆スタッフのかかわり…子どもと保護者が安心してひろばを利用し周囲と交流できるようにする。
 - ・信頼関係構築のため一人一人の利用者と向き合い、ゆったりと話を聞く。
- ◆地域とのつながり…地域の方との交流を継続しながら、利用者と地域をつないでいく。
 - ・ファミリーデーやリサイクルデーに地域の方を招待。松寿荘との交流を継続。
 - ・菜園の野菜や果物の栽培や収穫を通して、地域の方々と関わる機会を持つ。

①子育て親子の交流の場の提供と交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親*多胎児*妊婦*父親*祖父母等様々な利用者を温かく迎え入れ、他の利用と交流しながら過ごせるようにしていく。 ・昼食時間を設け、食事を共にすることで交流を促進する。 ・高齢者施設との交流、地域の方との交流を通して、親子が幅広い世代とふれあえる機会を設ける。 ・同じ環境や立場の親子が集まるイベントを企画し、親子が出会うきっかけを作る。 (誕生会、赤ちゃんひろば、ツインズデー、防災デー、季節遊び、音楽ひろば、水遊び、屋外ひろばでのピクニック、ママ企画プログラム等)
②子育て等に関する相談・援助の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の困り事を気軽に話せるような利用者スタッフの関係づくりを意識し行う。 ・必要に応じて様々な機関、特に地域利用者支援事業と連携する。 ・ふじみ園職員に子どもの関わりについて専門的にアドバイスをもらい拠点の環境設定、子どもの発達に応じた対応から利用者の相談につなげる。 (保健師座談会、子育て座談会、栄養士座談会)
③地域の子育て関連情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・情報コーナーを設置し、公的情報のみならずインフォーマルな子育て情報も提供する。また子育てに限らず生活情報として必要な情報を提供する。 ・最新の幼稚園、保育所、遊び場などを分かりやすくファイルに整理し、見やすく提供したり、子育てに関する新聞記事や講座などの資料を掲示する。 ・わははひろば専用サイトの運営。その他、本体NPOで収集した情報を携帯メール、インターネット、情報誌「おやこDEわはは」、Facebook等で提供する。
④子育ておよび子育て支援に関する講習等の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家(発達・保健・防災・子どもの遊び等)を招いて日常では聞けない講座を開催(保健師座談会、助産師育児講座、栄養士食育講座、救命救急講座、子育て座談会など) <p>【地域連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の小学校・中学校の職場体験、看護学校等の実習受け入れ。 ・まるっ子菜園での野菜や果物栽培。

3. 「まるっ子ひろば」子育て相談

年度目標	事業の認知を広める 地域に出向き相談を受ける まるっ子ひろば新規登録アンケート「コーディネーターを知っていますか？」 「はい/いいえ」の項目、「はい」を全体登録者数の50%にする
事業費	¥6,732,000
関わる人(目標)	1,200人

事業計画：新規訪問先（大橋記念図書館）を含む定期訪問（わははひろば坂出・子育てサークル）を続ける
まるっ子ひろばホームページにダブルケアに特化したページを作る
情報提供日に利用者にアンケートを実施し、利用者のニーズをひろう

<p>① 利用者の個別ニーズを把握しそれに基づいて情報の集約・提供、相談、利用支援等を行うことにより、地域の教育・保育、子育て支援事業等を円滑に利用できるよう実施に関する事。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話相談、予約による来所相談を受け付ける。 ・幼稚園、保育所(園)、認定こども園、地域子育て支援拠、認可外施設をはじめ、子育て支援に関する施設・事業、医療・保健機関など、地域で子育て支援に関わる関係機関に訪問し、訪問シートを作成する。 ・わははひろば坂出・子育てサークル（毎月）、坂出市大橋記念図書館「としょかん赤ちゃんタイム」（1回/2か月）出向き子育て情報提供、相談を受け付ける。 ・HP、SNSを利用し地域の子育て支援情報を提供する。・情報提供日にアンケートを実施し、利用者のニーズを拾う。 ・まるっ子ひろばHPにダブルケアに特化したページを作り、広く情報発信していく。・拠点スタッフとミーティングを週1回行う。
<p>② 教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を提供している関係機関との連絡・調整、連携、協働の体制づくりを行うとともに、地域の子育て資源の育成、地域課題の発見・共有、地域で必要な社会資源の開発等に関する事。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て関係機関（保育所・幼稚園・サークル・保健センター等）への訪問挨拶・情報収集をする。 ・市内の幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点等に出向き、現状や連携について確認する。 ・3.4ヵ月健診に出向き、保健師と顔の見える関係の構築に努める。 ・シングル・離婚を考えている方の座談会を開催。・ダブルケア・カフェ実施。（1回/月）：地域包括支援センター協力 ・お仕事準備座談会を開催（隔月）。・児童主任委員の連絡会に参加。 ・発達療育機関・親の会に参加し現状把握を行う。 ・必要に応じてケース会を実施。情報共有、支援内容の役割分担を行う。 ・香川県ふじみ園スタッフからスーパーバイズを受ける（毎月/11月まで） ・経済的課題を持った利用者を含め幅広く参加できる家計講座を実施。協力：坂出市社会福祉協議会 ・ふれあい事業実施/坂出市立東部中学校
<p>③ 本事業の実施に当たり、リーフレットその他の広告媒体を活用し、積極的な広報・啓発活動を実施し、広くサービス利用者に周知に関する事。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香川県内に無料配布されている子育て情報誌「おやこ DE わはは」、わははメール、まるっ子通信に子育て支援コーディネーターについて掲載する。 ・HPで子育て支援コーディネーター事業取り組みについて説明する。 ・パンフレットを作成し、行政、子育て支援機関、幼稚園、保育所(園)認定こども園へ、小児科等へ配布。 ・コーディネーター通信を発行する（1回/2か月）
<p>④ その他事業を円滑にするための必要な諸業務に関する事。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の高齢者施設とのふれ合い交流会を実施(4回/年) ・商店街のイベントにわはは・ひろばのスタッフと参加する。

4. 「まるっ子ひろば」一時預かり

年度目標	新規利用者を増やす。 成果見込み：認知を広め必要な人が利用できるようになり、育児負担の軽減につながる
事業費	¥1,470,000
利用数目標	利用延べ人数 450名 新規登録数 50組

事業計画：・HPで保育の様子を伝える。

・まるっ子HP内に予約状況のカテゴリを作成する。

<p>① 利用者の個別ニーズを把握し、それに基づいて一時預かりのしおり記載内容及び保育内容を見直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て支援拠点利用者の普段の様子から、必要と思われる親子に対して一時預かり事業を積極的に紹介する。 ・一時預かり利用者を利用後の意見徴収を行い、保育内容の見直しを行う。 ・コーディネーター・ひろばスタッフと連携し子どもの様子や保護者で気になる情報は共有する。
<p>② 一時預かり事業の広報を積極的に行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まるっ子ひろば」利用者のみならず、地域の子育て家庭のニーズを満たすために、一時預かり事業の広報を行う（HP、まるっ子ひろば通信、坂出市広報等）。 ・利用者支援事業において、一時預かりが必要と思われる親子に対し、事業の利用を勧める。
<p>③ 事業を円滑に進めるためのスタッフの配置及び勤務体制に関すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一時預かり担当者とは他スタッフとの連携を進めるために、各事業の状況を積極的に報告し合い、ミーティングを行う。 ・少ない人数のスタッフで一時預かり事業を円滑に進めるために、ひろば開館時にはひろばを活用し、ひろばスタッフが一時預かり保育の見守りを行う。

※ 平成31年度 「地域は共育」事業受託実施

目標：普段から地域で顔の見える関係性を作り、災害時等に助け合える地域づくりをする。

実施予定日	活動内容（具体的な活動内容、実施場所等）
予算額	¥235,000
～5月上旬	第一回実行委員会
5月～	防災食を考える①
6月	まるっ子ひろば菜園での夏野菜の植え付け・香川大学高橋真里先生の講演 まるっ子ひろば館内にて地域の避難訓練実施。
7月	自治会・主任児童委員などと合同実施 協力 坂出市消防局 夏休みに防災カルタを使った防災教室。
8月	講師：道久礼子さん
9月	防災食を考える② まるっ子ひろば菜園で収穫した野菜を使い地域の方と一緒に防災食を作り、みんなで食べる 講演・実践 防災と食:パッククッキング等（講師：池田奈央さん）
10月	さつまいも収穫体験・地域交流会
11月	第2回実行委員会 シェイクアウト実施・防災講座（講師：坂出市消防団女性分団）
2月下旬	第3回実行委員会